

第4章 まちづくりの具体的提案

川崎区のまちづくりについて個人個人が興味のあるテーマを選び、具体的な提案を行いました。

1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

- 多摩川の自然をもっと市民生活にとけ込ませる
- 富士見公園などの公園を充実させる
- 緑と水のネットワークをみんなでつくる
- 旧東海道や川崎宿の史跡を活かす

2. 地域間の連携を強くする

- 地域間相互を行き来しやすくする（南北方向）
- 公共交通を中心とした交通体系づくり
- 歩行者、自転車、自動車が共存する道路づくり

3. 川崎駅周辺や身近な生活の場を充実させる

- 災害に強く、魅力ある川崎駅周辺地区をつくる
- 地域資源を活かした大師駅周辺地区をつくる
- 人と人とがふれあえる活気にみちた身近な商店街づくり

4. 安全で暮らしよいまち（住環境）をつくる

- 安心して歩ける道づくり
- 心地よい調和のとれた街並みをつくる
- 地域コミュニティの連携により、災害に強いまち（住環境）を形成する

5. 臨海部を変える

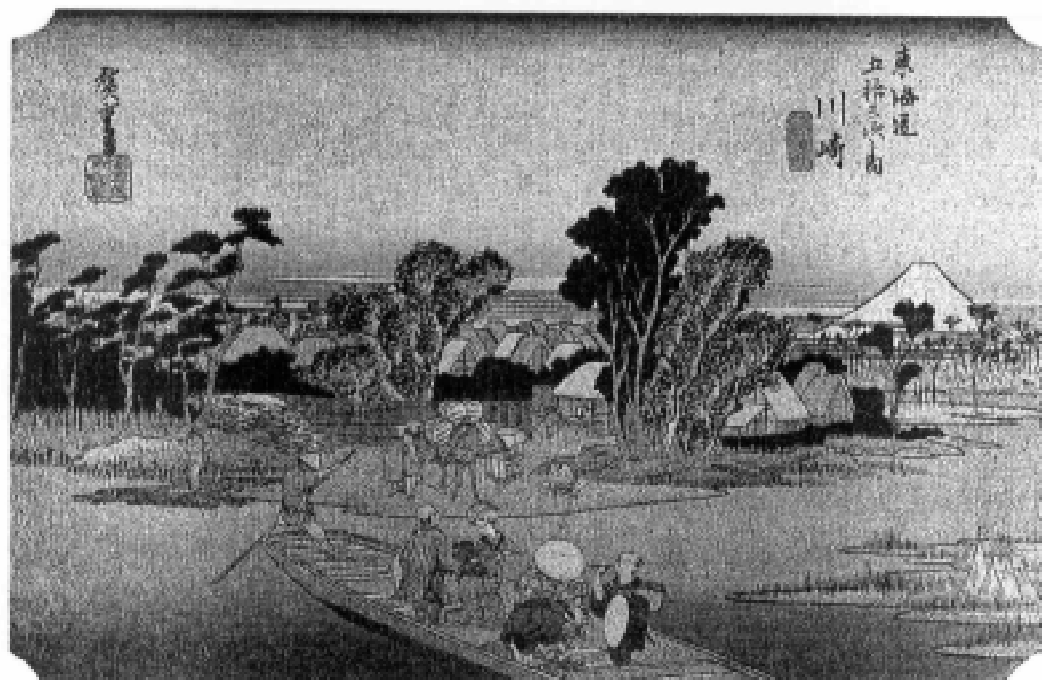
- 臨海部に砂浜、海水浴場、海浜公園をつくる
- ハイテクのイメージと緑が充実した臨海部をつくる
- 大規模な工場跡地の利用は市民とともに考える

1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

1. 提案のタイトル●多摩川の自然をもっと市民生活にとけ込ませる

多摩川と市民の手に。

2. イメージを伝える写真・絵・図など



舟で多摩川を渡る「六郷の渡し」(東海道五十三次)



矢切の渡し

3. 提 案

毎年夏場に水上バス^①の通航で、奈良川にも少しはうみあいかへ来て来たように思われるが、観光資源として水上バスの限定期間の通航だけでない「矢野川の渡し」^②の再現を考えてみる。もちろん、川の治水^③でも治水^④で生態系への配慮や水上活用^⑤という面での万全の安全策を講じる^⑥とは大前提の条件ではあるが、川崎大師の参拝を渡し舟^⑦でゆなん^⑧と雰囲気も最高だと思う。

●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

市議会全体で全国への宣伝などETC。

○行政に期待したいこと

関係機関との調整を早急にすすめてほしい。

○短期的(すぐ)にできること

全国に及ぶ観光資源の調査(特に「渡し舟」についてなど)。

○長期的に取り組むことが必要なこと

このまま継続していくこと。

1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

1. 提案のタイトル●多摩川の自然をもっと市民生活にとけ込ませる

多摩川の河川敷整備と堤防のサイクリング、ジョギングロード化

2. イメージを伝える写真・絵・図など



3. 提 案

現状の多摩川の河川敷は灌木や葎が残り点々と有る

ホームレスの小屋や粗大ゴミも判明しがたい。又、

夜間の治安にも問題が有りそうである。

そこで河川敷を整備し、桜、梅などの花木を植えて

市民の憩いの場とする事提案したい。又不法の停留されて

いるコレジャーボートなど撤去すれば、[■]景観も良く川水の

汚染も良い傾向になると思う。

堤防のサイクリングロード改修のは大師橋下の産業道路上

多摩川の浮島線に歩道橋を新設しなければならぬ事で

あるが、車両の通行を禁止すれば、大音量を支える必要が

無いので新設費は少なくてすむと思われる

●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

○行政に期待したいこと

○短期的(すぐ)にできること

○長期的に取り組むことが必要なこと

1. 緑や水などうるおいのある川崎区をつくる

1. 提案のタイトル●多摩川の自然をもっと市民生活にとけ込ませる

多摩川 で マラソン 大会 を

2. イメージを伝える写真・絵・図など



◀▲多摩川河川敷